

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌(暫定版)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム光生舎ゆいま〜	階数	地上3F
建設地	札幌市厚別区もみじ台南3丁目4番	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	90人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2015年5月 予定	評価の実施日	2014年9月29日
敷地面積	13,790 m <sup>2</sup>	作成者	中野 敦司
建築面積	3,076 m <sup>2</sup>	確認日	2014年10月1日
延床面積	5,898 m <sup>2</sup>	確認者	中野 敦司



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE0.9**

★:★★★★★ A:★★★★ B:★★★ B:★★ C

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	83%
③上記+②以外の	83%
④上記+	83%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>・外壁には、断熱性能の高い材料及び外断熱工法としている。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>注) 上記の4つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>	
<p><b>W (Global Warming) 省エネルギー・省資源</b></p> <p>注) 「W (Global Warming) : 省エネルギー・省資源」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2冷媒のエコキュートを採用している</li> <li>・調節水型の大便秘器を採用している</li> <li>・省電力型照明器具 (LED)を採用している</li> </ul>	<p><b>G (Green) 緑化</b></p> <p>注) 「G (Green) : 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内には緑地を確保し緑化計画している。</li> </ul>	<p><b>S (Snow) 雪処理</b></p> <p>注) 「S (Snow) : 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内に堆雪場を設け対応する。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される